

10月15日(土) 13:30~16:30

平成28年度 三原市事業レビュー資料

【テーマ】 男女共同参画

目次

・ 施策概要書	・・・	1
・ ③男女共同参画啓発事業	・・・	2
・ ④女性リーダー育成事業	・・・	16

施策番号【2】『みはら元気創造プラン』施策概要書

施策名	男女共同参画社会の形成	担当課	人権推進課	連絡先	-
施策がめざす三原市の姿	男女が互いを尊重し、個性と能力を十分に発揮して、社会の様々な分野に参画している。				

1 現状・課題 修正

(1)	本市では、「三原市男女共同参画推進条例」の制定及び「三原市男女共同参画プラン（第2次）」の策定を通じ、男女共同参画社会の実現に向けた理念と取組を明確にしてきました。	
(2)	各種審議会等における女性登用の割合は依然として低く、今後も積極的な登用など、社会全体がその実現に向けて取り組むことが必要です。	
(3)	結婚・出産後の女性の職場復帰・再就職を支援するなど、女性が社会で活躍しやすい仕組みづくりが必要です。	
(4)		
(5)		

2 基本方針 修正

(1)	男女共同参画社会の理解を広めるため、積極的な情報提供と啓発に努めます。	
(2)	男女共同参画を推進する女性リーダーの育成などに取り組み、政策・方針決定過程への女性の参画を促進します。	
(3)	女性が社会のあらゆる分野で活躍しやすい環境づくりに向けて、事業者等と連携した支援を推進します。	
(4)	配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス（DV））をなくし、男女がともに人権を尊重し、安心して生活できる環境づくりに向けて、啓発や相談を推進します。	
(5)		

3 達成度を測る指標 4 個別事業の状況

指標名	初期値	現状値	目標値 (H31年度)	個別事業名（予算額上位15件）	H28当初予算 (千円)
(1) 社会全体における男女の地位が平等だと感じる市民の割合	12.1% (H23年度)	12.1% (H23年度)	上昇	男女共同参画啓発事業	1,696
				女性リーダー育成事業	105
				男女共同参画プラン（第3次）策定事業	2,935
(2) 各種審議会等に占める女性委員の割合	23.9% (H25年度)	24.4% (H26年度)	30%		
(3) 女性（25～39歳）の就業率	64.3% (H22年)	64.3% (H22年)	70%		
(4)					
(5)				施策合計（百万円）	4.7

5 最近の動向

1	<p>女性活躍推進法の施行と三原市男女共同参画プラン（第3次）の策定</p> <p>・自らの意思によって職業生活を営み、又は営もうとする女性の個性と能力が十分発揮され、女性の職業生活における活躍を推進することを目的とした、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」（以下、『女性活躍推進法』という。）が、平成27年8月に公布・施行され、次の基本原則が掲げられた。</p> <p>①女性に対する採用、昇進等の機会の積極的な提供及びその活用と、性別による固定的役割分担等を反映した職場慣行が及ぼす影響への配慮が行なわれること。</p> <p>②職業生活と家庭生活との両立を図るために必要な環境の整備により、職業生活と家庭生活との円満かつ継続的な両立を可能にすること。</p> <p>③女性の職業生活と家庭生活との両立に関し、本人の意思が尊重されるべきこと。</p> <p>・三原市では、三原市男女共同参画プラン（第2次）の計画期間満了に伴い、今年度は第3次プランの策定年度にあり、女性活躍推進法が市町村に要請している市町村推進計画と同プランの整合が課題となっている。</p>
---	--

事業名：男女共同参画啓発事業



Q1 この仕事は、誰のために、何をしていますか？

- ・男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなくその個性と能力を十分に発揮することができる社会の実現に向けた取組みとして啓発講演会や社会づくり表彰を実施しています。
- ・市民の皆さんへの男女共同参画の意識啓発を目的とした情報誌「with YOU」を年2回発行しています。



Q2 この仕事に、私たちの税金がどのように使われていますか？

- 【男女共同参画講演会】 委託料 300 千円，講師謝金 125 千円，旅費 4 千円，手話通訳料 13 千円，舞台操作手数料 25 千円
- 【情報誌「with YOU」の発行】 印刷製本費 312 千円，新聞折込委託料 334 千円，編集委員謝金 151 千円
- 【社会づくり表彰】 消耗品費（表彰状用紙・記念品代等）15 千円
- 【男女共同参画推進事業委託料：300 千円】・講演会の企画・運営を委託。



Q3 この仕事が行われることによるメリットは？

- ・市民一人ひとりの皆さんに、男女共同参画についての意識を高めていただくことにより、家庭・職場・地域など社会生活のあらゆる分野において男女共同参画が実現できると考えています。
- ・あらゆる啓発事業を継続して実施することにより、市民の皆さんが、自身の周りの状況を見直すきっかけになるものと考えています。



Q4 この仕事はいつから始まり、また、見直しなどを行いましたか？

- 【講演会・いきいきセミナー】
- ・市が合併した平成 17 年度から講演会といきいきセミナーを行っています。平成 25 年度まで、年 5 回。平成 26 年度から年 3 回実施。
- 【情報誌「with YOU」】
- ・平成 17 年度から発行しています。年 2 回発行して（21 から 26 年度までは年 1 回発行）おり、平成 27 年度は第 15 号，第 16 号を発行しました。



事業シート（概要説明書）

予算事業名	男女共同参画啓発事業		事業開始年度																
上位施策事業名	1-1-2 男女共同参画社会の形成		担当局・部名	生活環境部															
根拠法令等	男女共同参画社会基本法, 三原市男女共同参画推進条例		担当課・係名	人権推進課・男女共同参画係															
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	大関															
実施の背景	性別に関わりなく誰もが個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は我が国の最重要課題であり、国や県とともに市もその推進に取り組んできた。しかしながら、市民意識調査によると、社会全体における男女の地位が不平等と感じる人が約8割を占めるなど様々な分野でいまだに男女平等が進んでいない状況がある。																		
目的 (何をどうしたいのか)	様々な立場にある人に、男女共同参画の理解を深めてもらうため、広報・啓発の充実に力を入れる。市民一人ひとりが、男女共同参画についての意識を高め、家庭・職場・地域など社会生活のあらゆる分野において男女共同参画が実現できている状態をめざす。																		
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民対象		対象者数 (全住民に対する割合)															
				97,472	人 (100 %)														
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者: みはらウィメンズネットワーク)																	
		<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先: _____ 実施主体: _____)																	
		<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: _____) <input type="checkbox"/> その他 (_____)																	
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)		事業費		活動指標														
	男女共同参画講演会・いきいきセミナー		468	千円															
	情報誌の発行 (年2回発行)		798	千円															
	男女共同参画社会づくり表彰		16	千円															
	男女共同参画推進事業委託料		300	千円															
	事務費		130	千円															
関連事業 (同一目的事業等)																			
コスト	28年度 (予算)		27年度 (決算見込み)		26年度 (決算)		25年度 (決算)												
	事業費合計		1,696	千円	1,712	千円	1,260	千円	1,345	千円									
	事業費内訳 (平成27年度分)		・男女共同参画講演会・いきいきセミナー 468,280円 【講師謝金(125,000)円・旅費(4,580円)・手話通訳(13,000円)・舞台操作手数料(25,700円)・委託料(300,000円)】 ・情報誌「with YOU」発行 798,250円 【印刷製本費(312,400円)・新聞折込委託料(334,650円)・編集委員謝金(151,200円)】 ・社会づくり表彰 15,648円 【消耗品費(15,648円)】 ・男女共同参画推進事業委託料 (講演会・セミナーの企画) 300,000円 講演料・交通費 234,580円 研修費 65,000円 事務費 420円 ※H28 200,000円																
	人件費	担当正職員	0.94	人	5,640	千円	0.94	人	5,640	千円	0.94	人	5,640	千円	0.94	人	5,640	千円	
		臨時職員等	0	人		千円		人		千円		人		千円		人		千円	
		人件費合計	0.94	人	5,640	千円	0.94	人	5,640	千円	0.94	人	5,640	千円	0.94	人	5,640	千円	
	総事業費		7,336		千円		7,352		千円		6,900		千円		6,985		千円		
	財源 内訳	国県支出金		0		千円		0		千円		0		千円		0		千円	
		国県支出金の内容																	
		地方債		0		千円		0		千円		0		千円		0		千円	
その他特財		0		千円		0		千円		0		千円		0		千円			
その他特財の内容																			
一般財源		7,336		千円		7,352		千円		6,900		千円		6,985		千円			
財源合計		7,336		千円		7,352		千円		6,900		千円		6,985		千円			

事業シート（概要説明書）

予算事業名		男女共同参画啓発事業			事業開始年度		
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）	単位	H27年度	H26年度	H25年度	
		男女共同参画講演会 のべ参加者数	人	569	583	561	
		いきいきセミナー参加者	人	168/3回	125/3回	211/5回	
		情報誌(with YOU) 44,000部	回	年2	年1	年1	
	単位当たりコスト	/					
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）						
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）	単位	H27年度	H26年度	H25年度	
		講演会に参加し理解できた人(アンケート結果) （よく理解できた・理解できたの割合）	%	87	90		
		社会における男女の地位 （男性の方が優遇されていると考える人）	%	/	/	78.9 (H23年度)	
事業の自己評価 （今後の事業の方向性、課題等）	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会参加者の年齢層に偏りがある。 ・成果が目に見えて現れないものであるため、広報・イベントの開催方法により工夫が必要である。 ・情報誌については、新聞折込と公共施設での配布を行っているが、市民からの感想・反応は直接市にはあまり寄せられない。 						
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）	<p>【企業・事業所向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進事業者表彰、情報誌の事業所への配布、研修への講師派遣 ・職場環境の改善に必要なコンサルティング経費補助（広島市） ・ワークライフバランス認定企業や表彰企業に、金融機関による融資金利優遇（福山市） ・事業所等を対象としたワークライフバランスセミナーの開催（庄原市） ・企業経営者等を対象としたワークライフバランスセミナーの開催（竹原市） 						
特記事項							

男女共同参画講演会(兼老人大学教養講座) 5月

	H27	H26	H25	H24	H23
講師名	狩谷 明美 (県立広島大学准教授)	春日 キスヨ (臨床社会学者)	野原 建一 (県立広島大学名誉教授)	石丸 賢 (中国新聞論説委員)	井手口 ヤヨイ (キャリアライフプランナー)
演題	高齢者の社会参画と健康	備えあれば憂い少なし ～長寿社会を生きる知恵～	男女共同参画の意義とまちづくり	三原のいいところ見つけた	私らしく、あなたらしく ～人とひと・心と心ころのむすび愛～
収容人員	405	405	405	405	405
来場者数	330	318	186	374	370
男	88	79	59	127	90
女	242	239	127	247	280
アンケート回答者数	213	191	134	0	0
20歳未満	0	0	0		
20～29	2	0	0		
30～39	0	0	0		
40～49	0	0	1		
50～59	4	7	1		
60～69	60	53	35		
70～79	107	94	77		
80歳以上	38	34	20		
無記入	2	3	0		

みんなの男女共同参画講演会 6月

	H27	H26	H25	H24	H23
講師名	船橋 邦子 (NPO法人女性と子どものスペースニコ代表)	山崎 大地 (ASTRAX 代表)	杉浦 圭子 (NHKチーフアナウンサー)	木ノ元 陽子 (中国新聞論説委員)	堂本 暁子 (元千葉県知事)
演題	「女性が輝く社会」は誰にも優しい社会 ～男女平等指数104位の日本で考える～	宇宙主夫 ～家族で叶えた宇宙への夢～	「仕事と家庭の両立」 ～わたしとヒロシマ～	「紡ぎたい家族の絆」 ～「サポートブック 親子のうたがききたくて」取材から～	女も男も自分らしく輝く まちに ～男女共同参画条例発足にさきがけて～
収容人員	150	150	150	150	150
来場者数	63	92	150	38	70
男	4	12	17	0	9
女	59	80	133	38	61
アンケート回答者数	49	62	110	0	0
20歳未満	0	1	0		
20～29	0	0	0		
30～39	0	0	0		
40～49	1	6	7		
50～59	6	9	14		
60～69	19	25	42		
70～79	20	19	42		
80歳以上	2	2	5		
無記入	1	0	0		

条例制定記念講演会 10月or11月

	H27	H26	H25	H24	H23
講師名	大崎 麻子 (開発政策・ジェンダー専門家)	笠井 信輔 (フジテレビアナウンサー)	菊地 幸夫 (弁護士)	広岡 守穂 (中央大学教授) 広岡 立美 (元石川県議)	杉尾 秀哉 (TBS解説・専門記者室長)
演題	ジェンダーの視点から ～誰もが生きやすい社会とは～	アナウンサー夫婦奮闘物語 ～男女共同参画と震災取材～	出会いの人生から学んだこと ～仕事も家庭も一生懸命!～	支えよう 子育てと自分育て ～何が変わるか男女共同参画で～	男女共同参画社会実現の先に ～私たちの暮らしはどう変わるのか～
収容人員	150	405	512	150	1209
来場者数	87	63	160	37	343
男	15	19	53	5	174
女	53	44	107	32	169
アンケート回答者数	40	48	121	0	
20歳未満	0	0	1		
20～29	2	0	5		
30～39	4	0	6		
40～49	2	4	6		
50～59	6	14	19		
60～69	14	19	47		
70～79	10	8	32		
80歳以上	2	2	4		
無記入	0	1	1		

市民による男女共同参画講演会 2月or3月 (みはらウィメンズネットワーク企画)

	H27	H26	H25	H24	H23
講師名	沖田 光昭 (公立みつぎ総合病院副院長) 倉田 雄司 (御調高校校長) 狩谷 明美 (県立広島大学 准教授)	河野 美代子 (河野産婦人科クリニック院長)	内海 淳子 (アルパ奏者)	阿部 憲子 (ホテル観洋 女将)	北 佳弘 片元 彰 (ファザーリング・ジャパン中国)
演題	「イノベーションマインドと地域の活性化」 ～地域の総力をあげた戦略を! 男女共同参画の視点で～	DV(ドメスティックバイオレンス)とその対応 ～臨床の立場から～	アルパ弾き語り 「みんな〇(まる)!」	「女性たちの東日本大震災」 ～南三陸「ホテル観洋」の女将が語る3.11から今～	「いまだきの子育て、孫育て」 ～大切なのは地域との関わり方～
収容人員	150	150	150	150	150
来場者数	108	110	65	150	110
男	11	5	17	11	9
女	54	105	48	139	101
アンケート回答者数	80	70			
20歳未満	0	0			
20～29	0	1			
30～39	1	1			
40～49	0	5			
50～59	8	13			
60～69	35	36			
70～79	29	12			
80歳以上	5	1			
無記入	2	1			

市民企画のいきいきセミナー

平成17年	企画者：三原音楽療法研究会／よみかたりサークルぽけっと	
	① 音楽療法入門～音楽で心も体も元気に～	日本音楽療法学会認定音楽療法士 木島 ほづみ・吉岡 由美子
	② 大人におくる絵本の世界～音楽とともに～	よみかたりサークルぽけっと

平成18年	ひろしま女性大学(県女性会議主催)修了者グループ(たらの芽)企画 3回実施	
	① 言わせてください“これってちょっと変?” ー日常の中にひそむ ジェンダーバイアスー*	渾川 雅子(たらの芽会員)
	② 女性の“こころ”と“からだ”の問題 ー今どきの子育て模様を ライフサイクルを通して考えるー	吉田 なお子(たらの芽会員)
	③ だれもが生かされ、大切にされるために ー男女共同参画社会の実現に向けてー	吉本 知子(たらの芽会員)

*ジェンダーバイアスとは…生活の場面で「女(男)とはこういうものだ」と決めつける固定的な役割分担にとらわれた見方や通念、そしてその結果として生じるジェンダーによる社会的な偏り

平成19年	ひろしま女性大学(県女性会議主催)修了者グループ(たらの芽)企画 3回実施	
	① 社会の変化とこれからの男女の生き方	吉本 知子(たらの芽会員)
	② (パネルディスカッション) ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて	コーディネーター 三好久美子 パネリスト 齊藤佐代子 パネリスト 川内 和子 パネリスト 藤井 俊孝(HARAJIN代表)
	③ 私たちが守られている権利と果たさなければいけない義務	渾川 雅子, 内田 和子 (たらの芽会員)

平成20年	みはらウィメンズネットワーク:企画	
	① 大人に贈る絵本の世界	よみかたりサークルぽけっと
	② 阪神淡路大震災での教訓 ～防災と女性のかかわり～	三原市消防本部 乃美 孝司 三原市消防団 武藤 ルリ子, 三原市消防団 高西 嘉美
	③ 男性も介護の世界へ	三原市認知症の人と家族の会代表・ 民生委員児童委員 末盛 征壮

平成21年	みはらウィメンズネットワーク:企画	
	① 認知症予防と認知症への関わり	横田 貞子 池本 富美恵
	② DV(ドメスティック・バイオレンス)をもっと知りましょう	ユノ川クリニック 院長 湯泉川 梅代
	③ すべての人が自分らしく生きていくために	タイニィ エッグズ 狩山満香 七色亭紫陽花

平成22年みはらウィメンズネットワーク:企画		
①	「夢を目指して」津軽三味線に生きる	津軽三味線師範奏者 田岡 隼山
②	「母親が変われば子も変わる 子どもが変われば未来が変わる」	NPO法人イーハート代表 清水 理恵
③	「健康に生きる」	ヘルスケアトレーナー 石井 康夫
④	アサーティブネスで男女共同参画の一步	アサーティブネス・トレーナー 井上 由美
⑤	「錆びない生き方」	昭和女子大学学長 坂東眞理子 共催:三原市教育委員会 :昭和女子大学光葉同窓会広島支部

平成23年みはらウィメンズネットワーク:企画		
①	「日本とフランスの育児と仕事そして健康ライフ」	シャラン 山内 由紀
②	「私が歩んだ農業」	梶谷農園代表 梶谷 きよみ
③	「私の乳がん日記」	フリーディレクター 信友 直子
④	多文化交流 あなたから見た三原 ～身近な外国人ともっと知り合いませんか～	市内在住の外国人の方と 語り合しましょう
⑤	～NO CLAY, NO LIFE～ これが私の生きる道	陶芸家 宝田 あすか

平成24年みはらウィメンズネットワーク:企画		
①	「大きな輪を夢見て… つなごう地域の絆」	三原市女性会 川品 洋子
②	「がんす娘 ただいま奮闘中!!」	三宅 結花
③	「大学と女性」	広島大学 副学長 土屋 英子
④	「笑顔で生きよう」	(有)オフィスサナダ 代表取締役 眞田 千恵
⑤	「乳がん健診を受けよう」	医学博士:三原市医師会病院乳腺科医師 角舎 学行

平成25年みはらウィメンズネットワーク:企画		
①	「てくてく三原のまち再発見」	アゼリアガイドみはら 小森 キヨミさん
②	県立広島大学三原キャンパス 『パペットサークルげんき組』による「人形劇」	県立広島大学三原キャンパス 助教授 大内 隆さん 『パペットサークルげんき組』
③	「酪農教育ファーム 食や命の大切さを学んで」	世羅高原6次産業ネットワーク 副会長 岡田 典子
④	「地域における企業の使命」	株式会社八天堂 代表取締役 森光 孝雅さん
⑤	「せんべい布団に茶漬け」 ～包まれて生きる女性的自然観を見直す～	保護司 田原 開起

平成26年みはらウィメンズネットワーク:企画		
①	「忙しい！ 私にもできるまちづくり」 ～街づくりの第一歩～	(株)まちづくり三原 タウンマネージャー 原田 弘子さん
②	「全然大丈夫じゃない！」自分を受け入れる力	田野浦小非常勤講師 田坂 真里さん
③	「みんなイキイキ 繋がる社会」 ～地域の女性リーダーを育成するために～	県立広島大学 准教授 狩谷 明美さん

平成27年みはらウィメンズネットワーク:企画		
①	三原築城450年に向けて 「三原名物 やっさ踊り」	三原二之丸会 会長 山崎 愛一郎さん
②	体験活動で人づくり・仲間づくり ～体験ではぐくむ心の絆～	青少年育成アドバイザー 藤田 芳美さん
③	笑い与健康 ～ストレス社会を乗り切るには～	公立みつぎ総合病院 副院長 沖田 光昭さん

with YOU 掲載内容（過去5年間）

第 11 号 H23.11 月	■平成 22(2010)年度男女共同参画施策の進捗状況
	■～人がふれあい、ともに参画するまち～男女共同参画社会の実現に向けて
	■条例制定記念講演会
	■★キラリストちょっと聞かせて！
第 12 号 H24.11 月	■三原市男女共同参画プラン（第 2 次）を策定
	＜計画のスローガン＞認めあい 共に歩もう 多幸のまち
	■平成 24 年度「女性のための人材育成セミナー」開催
	■★キラリストちょっと聞かせて！
第 13 号 H25.11 月	■平成 24(2012)年度男女共同参画施策の進捗状況
	■三原市男女共同参画推進条例制定記念日講演会
	■市民企画の「第 1 回三原いきいきセミナー」開催
	■お知らせ 第 2 回三原いきいきセミナー
第 14 号 H26.11 月	■★キラリストちょっと聞かせて！
	■平成 25(2013)年度男女共同参画施策の進捗状況
	■第 1 回 いきいきセミナー
	■第 2 回 いきいきセミナーのご案内
	■三原市男女共同参画推進条例制定記念講演会
第 15 号 H27.11 月	■三原市男女共同参画社会づくり表彰
	■平成 26(2014)年度男女共同参画施策の進捗状況
	■みんなのお悩み相談室
	■ちょっと聞きたい！みんなのお悩み相談募集中
	■4コマまんが
第 16 号 H28. 3 月	■みはらキラキラキラリスト
	■女性活躍推進法
	■男女共同参画推進条例制定記念講演会開催しました
	■ちょっと聞きたい！みんなのお悩み相談募集中
	■4コマまんが
	■男女共同参画社会づくり表彰

with YOU 配布先

1	新聞折込	35,370
2	広報と一緒に郵送・総務広報予備含む	4,200
3	本庁 市民ロビー用	100
4	議会事務局	50
5	各課	50
6	支所 本郷, 久井, 大和(=3支所×各150部)	450
7	保健福祉センター ※保健福祉課(サンジ・プラザ)・本郷・久井・大和(=4箇所×各50部)	200
8	公立くい診療所	50
9	教育委員会	50
10	中央公民館	100
11	本郷生涯学習センター, くい文化センター, 大和文化センター(=3箇所×各50部)	150
12	生涯学習課(コミセン, 公民館等)(18箇所×各30部)	540
13	図書館 ※中央, 本郷, 久井, 大和(=4箇所×30部)	120
14	宇根山天文台	50
15	さぎしま青年の家	50
16	さぎしまセミナーハウス	50
17	老人大学	100
18	リージョンプラザ	100
19	保育所 公立12・私立10(=22箇所×各5部)	110
20	幼・小・中 ※公立幼15 私立幼8 小20 中10 附属幼・小・中(=56箇所×各5部)	280
21	高等学校 ※三原高校, 三原東高校, 総合技術高校, 如水館高校, 広島三育学院(=5箇所×各5部)	25
20	県立広島大学	100
21	三原看護専門学校	100
22	PTA連合会(中央公民館2F)	50
23	まちづくり活動ルーム	50
24	社会福祉協議会(4箇所×各50部) ※三原・本郷・久井・大和	200
25	広島県立図書館 資料課	3
26	県外・県内行政機関(10団体×各3部)	30
27	with YOU編集委員へ	210
28	予備(講演会・セミナーでの配布分含む)	1,062
	合計部数	44,000

with YOU 編集委員構成

	性別・年齢	
平成27・28年度	女性・22歳	
	女性・46歳	
	女性・43歳	
	女性・35歳	※H27.12から市外転出のため欠員
平成25・26年度	女性・73歳	(H24年からの継続)
	女性・53歳	(H24年からの継続)
	女性・44歳	
	男性・39歳	
平成22～24年度	女性・73歳	
	女性・53歳	
	男性・51歳	
	女性・54歳	

(H28.4.1現在年齢)

■男女共同参画社会づくり表彰受賞者

部門 年度	市民の部	市民団体の部	事業者の部	教育に携わる者の部
H25	吉本 知子	女性会連合会		高木 安雄
H26	坂本 和子	ウイメンズネットワーク	(株)エヌワイティグループ	村上 孝治
H27	藤原 真由美		株式会社八天堂	

みはらウィメンズネットワーク構成団体

NO	団体名	団体代表者名前	ウィメンズ代表者名前	団体について	所属人数
1	みはらLCS (レディース・カルチャー・ソサイアティ)	坂本 和子	浦谷 恵子	三原地域の様々な分野で活躍する女性が集まり、生涯学習社会・男女共同参画社会の実現を目指し学習する団体です。	15
2	三原商工会議所女性部会	岩本 由美	桑原 八千代	企業活動に従事する女性の立場から、資質の向上を図ると共に会員相互の親睦と連携を密にし、地域社会の発展に寄与することを目的としています。	22
3	三原市女性会連合会	澤井 清子	岡 恭子 (会計) 中村 寿美恵	三原・本郷・久井・大和の地域女性会（現在13団体）が連帯して、女性の教養と地位の向上を図り男女共同参画社会の実現に向けて学習し、身近な地域団体と連携して、一体となって地域の活性化を図っていく団体です。	1,238
4	国際ソロプチミスト三原	岩本 由美	岩本 由美	国際ソロプチミストは管理職、専門職に就いている女性の世界的組織で、地域社会と世界中の女性と女性の生活を向上させるための奉仕活動を行っています。今年で34年目を迎えます。30周年には、記念事業として、三原駅前浮城広場噴水のLED照明設置、南小学校体育館へ演台一式、三原市中央図書館へ子どもの絵本83冊を寄贈しました。	26
5	JA三原女性部	松本 治美	松本 治美	わたしたちは健全な食と農を次代に引き継ぐため、JAに結集して活動する次の運営原則と性質を備えた組織です。 ・自主的に運営をする組織です ・こころざしを同じくする女性の組織です ・仲間を増やし年代目的ニーズに応じた活動を行う組織です ・社会に貢献する活動を行う組織です ・政治的に中立な組織です	1,084
6	三原パイロットクラブ	大原 静代	梅本 尚枝	脳関連障害者支援を目的とし、友情と奉仕の「和」を広げながら活動しているボランティア団体です	20
7	三原地区更生保護女性会	原 雪子	山手 伊保子	女性として、母親としての立場から、地域の犯罪や非行を防止し、犯罪や非行に陥った人たちの更生に協力し、犯罪や非行のない明るい社会の実現に寄与する、女性ボランティア団体です	159
8	ひろしま女性大学福山校同窓会三原ブロック”たらの芽”	松本 貴子	高野 里美	市内在住の「ひろしま女性大学」及び「エソールひろしま大学」の修了生が1998年に結成しました。（男女共同の視点を持った人材育成の講座）男女共同参画社会の実現に向け、ひろしま女性大学での学習成果を、地域の課題と密着させながら、普及啓発活動を展開しています。また、「ひろしま女性大学福山校同窓会」「みはらウィメンズネットワーク」の会員として広く県内でも活動しています。平成14年（2002）8月「三原市男女平等社会基本条例」制定要望書提出 開催行事「かえっこバザー」「いきいきセミナー」「イクちゃんベビールーム（やっさ祭り）」「啓発パネル展示（生涯学習フェスティバル）」	9
9	三原市老人クラブ連合会女性部	永井 安子	永井 安子	市老連の中の一つの部会として、女性部独自に健康や認知症予防について研修会を開催しています。明るく元気に市老連の行事に参加	3,961
			計		6,534

(平成28年4月1日現在)

「みはらウィメンズネットワーク」とは・・・

9つの女性団体から構成。

男女共同参画社会実現のため、意識啓発や人材育成を目的とした講演会などの男女共同参画推進事業を行う。

みはらウィメンズネットワーク規約

(名 称)

第1条 本会の名前を「みはらウィメンズネットワーク」とする。

(目 的)

第2条 本会は、女性の社会参画に対する意識啓発と各団体の相互連携を図り、もって、男女共同参画社会の実現に向けての活動を推進することを目的とする。

(構 成)

第3条 本会は会の目的に賛同する三原地域の女性団体の会員をもって構成員とする。

(事 業)

第4条 本会は第2条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 各女性団体の相互連携と意見交換
- (2) 男女共同参画社会づくりのための研修及び人材育成
- (3) 前各号の他必要な諸活動の実施

(役 員)

第5条 本会に次の役員を置く。

会長	1名
副会長	2名
会計	1名
理事	若干名
監査	2名

(役員の仕事)

第6条 役員の仕事は次のとおりとする。

- (1) 会長は本会を代表し、会議を主宰しその仕事を遂行する。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長不在の時は会長の仕事を代行する。
- (3) 会計は本会の出納経理にあたる。
- (4) 理事は本会の運営にあたる。
- (5) 監査は本会の出納経理を監査する。

(役員の仕事)

第7条 役員は会員の互選により選出し、任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

(総 会)

第 8 条 本会の総会は、毎年 6 月に会長が招集し、総会の議長は、議場から選出する。総会の協議事項は原則として次のこととする。

- (1) 事業及び会計報告
- (2) 会計監査報告
- (3) 新年度役員選出
- (4) 新年度事業及び予算案
- (5) 規約改正

2 総会の議事は、その出席会員の過半数をもって決する。

(会 議)

第 9 条 その他の会議は、必要に応じて会長が招集する。

(事務局)

第 10 条 本会の事務局は三原市生活環境部人権推進課に置く

(経 費)

第 11 条 本会の経費は会費及びその他の収入をもってこれに充てる。

(会 費)

第 12 条 会費は年額 1 団体 5,000 円とする。ただし、一旦納入した会費は返金しない。

(会計年度)

第 13 条 会計年度は、毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。

附 則

この規約は、平成 13 年 10 月 17 日から施行する。

この規約は、平成 14 年 6 月 15 日から施行する。

この規約は、平成 17 年 6 月 12 日から施行する。

この規約は、平成 22 年 6 月 27 日から施行する。

この規約は、平成 25 年 6 月 16 日から施行する。

この規約は、平成 26 年 6 月 7 日から施行する。

事業名：女性リーダー育成事業



Q1 この仕事は、誰のために、何をしていますか？

・男女共同参画について理解し、具体的な推進に向けて行動できる人材を育成するため、20歳以上の女性を対象として「人材育成セミナー」を実施しています。



Q2 この仕事に、私たちの税金がどのように使われていますか？

【人材育成セミナー開催業務委託料：165千円】
・セミナー（5回）を開催するため、講師の選定・謝金の支払を委託しています。



Q3 この仕事が行われることによるメリットは？

・人材育成セミナー受講者が、審議会等の委員候補者リストへ登録され、市の審議会等の委員をはじめ、政策・方針決定の場に参画できる体制が整い、委員に委嘱されることにより、市政運営に女性の声が反映されます。



Q4 この仕事はいつから始まり、また、見直しなどを行いましたか？

・人材育成セミナーは、三原市男女共同参画推進条例を制定した翌年度（平成24年度）から行っています。平成28年度からは、5回連続講座から3回連続講座に回数を減らし、日程の間隔を空けました。



事業シート（概要説明書）

予算事業名		女性リーダー育成事業			事業開始年度																								
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）	単位	H27年度	H26年度	H25年度																							
		人材育成セミナー実施時間	分	90×5	90×5	90×5																							
		人材育成セミナー参加者数（募集20名）	人	12	23	16																							
		人材育成セミナー修了者数（5回のうち3回）	人	9	19	13																							
	単位当たりコスト	/																											
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	各種審議会等に占める女性委員の割合（H31 30%） 各種審議会等委員には、市内で活動する様々な分野の団体の代表者や学識経験者などが選任されることが多いが、こうした審議会等委員に占める女性の割合は近年横ばい傾向で、政策・方針決定過程への女性の参画が促進されることを目指す。																											
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）	単位	H27年度	H26年度	H25年度																							
		審議会等委員候補者リストへの登録者	人	1	2	5																							
		” （延人数H24年度以降）	人	19	18	16																							
各種審議会等に占める女性委員の割合	%	24.2	22.7	22.3																									
事業の自己評価 （今後の事業の方向性、課題等）	・セミナーの参加者は平均15名で、少しずつでも男女共同参画について理解が広がっていると思うが、候補者リストへの登録者が少数にとどまっている。																												
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）	【キャリア教育】 ・人材育成セミナーの開催（福山市）⇒男女共同参画推進委員の養成（出前講座の講師） 男女とも参加可能																												
特記事項	女性のための人材育成セミナー実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H26</th> <th>H25</th> <th>H24</th> <th>H23以前</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受講者数</td> <td>12</td> <td>23</td> <td>16</td> <td>18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>修了者数</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>13</td> <td>17</td> <td></td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>56</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">H28.4.1現在 70歳未満 28名（13名 H23以前 15名 H24以降）</p>						H27	H26	H25	H24	H23以前	受講者数	12	23	16	18		修了者数	10	20	13	17		登録者数	1	3	4	11	56
	H27	H26	H25	H24	H23以前																								
受講者数	12	23	16	18																									
修了者数	10	20	13	17																									
登録者数	1	3	4	11	56																								

人材育成セミナー

平成24年		
①	「男女共同参画社会づくりに向けて」 ～“気づき”の視点をもつ～	吉村 幸子 (財)広島県女性会議
②	「ワーク・ライフ・バランス」	正保 正恵 (福山市立大学 教授)
③	「個人化する社会と女性について」 ～緩やかな変化と急な変化～	礒田 朋子 (広島文化学園大学 教授)
④	「よりよい人間関係と自己主張」	石井 三恵 (広島女学院大学 副学長)
⑤	「女性(市民)リーダーの人材育成と 地域活性化の取り組み」	野原 建一 (県立広島大学 名誉教授)

平成25年		
①	「男女共同参画社会づくりに向けて」 ～“気づき”の視点をもつ～	吉村 幸子 (ウイメンズコーディネート・ひろしま 主宰 男女共同参画アドバイザー)
②	「地域づくりにおけるコミュニケーションのポイント」	井手口 ヤヨイ (交流分析士, 広島市男女共同参画審議会 委員)
③	「一人ひとりが輝くために」 ～ワーク・ライフ・バランス～	正保 正恵 (福山市立大学 教授)
④	「変容する家族, 変容する地域」 ～高齢期を主体的に生きる～	春日 キスヨ (臨床社会学者)
⑤	「これからの地域づくり」 ～人材が人財となるために～	吉村 幸子 (ウイメンズコーディネート・ひろしま 主宰 男女共同参画アドバイザー)

平成26年		
①	「変わる家族のあり方と家族の関係」	春日 キスヨ (臨床社会学者)
②	「なぜ今 女性の活躍促進？」	棚田 里美 (公財)広島県男女共同参画財団常務理事)
③	「これからのワークライフバランス」	森田 ひとみ (キャリアコンサルタント)
④	「男女共同参画社会づくり」	瀬川 徳子 (社会保険労務士)
⑤	「これからの地域づくりのポイントはこれ！」	丸山 法子 (一社)リエゾン地域福祉研究所代表理

平成27年		
①	「地域の中で, つながる力」	松永 悦子 (有限会社自分塾代表)
②	「介護保険はどう変わったか？」	樋口 美智子 (デイサービス ポーラスター顧問)
③	「あれもハラスメント! これもハラスメント？」	内野 悌司 (広島大学准教授)
④	男女共同参画社会づくり	礒田 朋子 (広島文化学園大学教授)
⑤	まとめ ～これからの私たちの地域づくり～	ファシリテーター 阿須賀 芳恵 (株式会社フラウ副編集長)

平成28年度 「女性のための人材育成セミナー」実施要項

- 1 **実施目的**：男女共同参画について理解し、具体的な推進に向けて動くことができる人材を育成します。このセミナーを修了（2回以上受講）した参加者は、市の審議会や委員会の女性委員登用候補者として登録をお願いします。
- 2 **実施日時**：9月29日（木）・10月13日（木）・26日（水）の3回実施
いずれも18時30分から20時まで
- 3 **実施場所**：三原市中央公民館 第2・第3講座室（円一町二丁目3番1号）
- 4 **募集人数**：20人（応募者多数の場合は、先着順）
- 5 **応募資格**：三原市内に居住又は勤務している20歳以上の女性
- 6 **応募方法**：申込書（人権推進課と、市ホームページに用意）に必要事項を明記し、人権推進課へ持参、郵送、FAXまたはEメールのいずれかにより提出。
（提出いただいた書類は返却いたしませんのであらかじめご了承ください。）
- 7 **応募期限**：平成28年9月23日（金）まで
- 8 **参加費**：無料
- 9 **学習プログラム**

日程	講師	演題	内容
9月29日（木）	瀬川徳子さん （社会保険労務士）	男女共同参画概論	■男女共同参画社会とはどのような社会なのか？
10月13日（木）	香川恭子さん （防災・被災者支援 地域女性ネットワーク）	地域防災	■女性の視点による避難所運営や防災の考えについて ■地域防災の取り組みに活かしていくポイント
10月26日（水）	三浦浩之さん （広島修道大学 教授）	地域の魅力発見	■地域づくりのための課題発見と解決の手法等について、ワークを通じて考えましょう。

10 お問い合わせ先

三原市生活環境部人権推進課

TEL：0848-67-6044 FAX：0848-67-6199

Eメール：jinken@city.mihara.hiroshima.jp

